

淀協2025年度事業計画・予算のメインスローガン

一人でも多く地域で困っている人に
寄り添い、地域を守り信頼される淀
協の事業所としてより一層輝かそう



80プラン推進、西淀病院建設を実現させるために、
赤字から脱皮し必要利益を生み出そう

医療・介護の質向上

健康友の会との共同

法人内外の連携

無差別・平等/健康増進

全職員参加の経営

～公益財団法人淀川勤労者厚生協会2025年度事業計画書～

2025年3月27日 淀協理事会で承認

2025年3月26日 常務理事会で確認

2025年3月19日 専務室会議で協議

〇はじめに

2024年度の事業計画書は、次の記述で始まっています。「2024年1月1日16時10分、お正月の北陸地方において能登半島地震が発生しました。亡くなった方は240人に及び、住宅被害は8万4千戸を超えています。3月8日時点で避難所に暮らす方は10,080人、完成した仮設住宅は未だ300戸です。国や自治体が、阪神淡路大震災、東日本大震災での教訓をもとに防災対策、災害関連死をなくす手立てをとってきたのかが問われています。」

2025年2月末の公費解体率はいまだ48%、震災から1年2か月を経て半数に届いていません。公費解体の遅れは昨年秋の豪雨被害にも影響を与えており、能登半島地震被害への国の対応は、この国の政治が市民の命や暮らし最優先でない事を残念ながら示しました。

能登半島地震の復旧・復興がすすまない中で、2024年10月に原発保安協定の変更を認可、現行制度で初めて原発の50年超運転を認めました。原子力発電への回帰を狙う国は、同10月に女川原発2号機を、12月には島根原発2号機を再稼働させています。福島原発の廃炉の目途さえ立たない中、政府はエネルギー基本計画での「可能な限り原発依存度を提言する」という記述削除を狙っています。日本の面積は世界全体の0.3%に及びませんが、マグネチュード6以上の地震回数は20%を超えています。いのちを守る、安全なエネルギー政策を国に求めていきましょう。

2023年度決算では病院（一般も国公立も）の半数が赤字経営。介護事業所も過去最高の

倒産・廃業が相次ました。2024年度の医療経営は物価高騰など経費の大幅増、診療・介護報酬の改定の影響でさらに深刻となり、日本医師会と6病院団体の合同声明で「ある日、病院をはじめとした医療機関が地域からなくなってしまう」と表現するほどの困難が日本各地で広がっています。「同仁会前倒産」のような経営危機が同時多発的に発生する事態、まさに日本の医療・介護の歴史的危機に直面しています。

自法人経営や民医連の経営を守ることは、地域の方々を守る事であり、日本の医療や介護を守ることです。まさに「たたかい」の一環であるという認識を一致させ、団結の力で前進しましょう。「いままでと同じことをしていても赤字（福島啓院長）」。これまでの延長ではない発想の転換と具体化、スピードが必要です。

2025年度予算作成では、エリアごとの利益目標設定と担当常務理事を軸に予算討議、のぎと診療所での全職員参加型予算、診療所事務長集団の学びを力とした予算議論など2024年度の経営困難を乗り越える新たな試みも生まれました。「全職員参加の経営」の深化が始まっています。これまで以上に「量的に」頑張るとともに、従来の延長線にとどまらない「質的な」変化を生み出し、必ずや淀協の未来を切り開いていきましょう。

2025年夏に参議院選挙が行われます。世界第3位目前の軍事費10兆円化、高額療養費制度改悪に象徴される「どの世代も守らない」社会保障改悪、物価高騰への対応の遅れなど、政治を変えて命と暮らしを守る課題が山積しています。

この国の主権者は国民であり、一人ひとりが主役です。声を上げ、声を広げてともにこの国の政治を変えていきましょう。能登半島地震被災地の復旧・復興、物価高騰に苦しむ市民への経済的支援に国の財政を使うか。それとも軍事費や万博・カジノ、沖縄辺野古の基地建設費用に使い続けるのか。自らの困難を、団結と連帯の力で淀協は乗り越えてきました。旧此花博愛会出身、山梨勤医協倒産時に奔走された元全日本民医連副会長の芹澤芳郎さんは「政府の施策を打ち破る事が出来ないものと受け入れ、その枠内で何とか生き残ろう」とする動きに常に警鐘を鳴らされていました。「たたかいと対応」の順番が大切です。変革の立場に立ち、いのち人権、民医連綱領、日本国憲法、これらの3つのものさしを忘れず、健康友の会とともに全役職員で前進を築きましょう。

○2025年度事業計画書の基本方向

今年度の淀協の基本方向は、事業計画・予算編成のメインスローガン「一人でも多く地域で困っている人に寄り添い、地域を守り信頼される淀協の事業所としてより一層輝かそう〜80プラン実現、西淀病院建設を実現させるために、赤字から脱皮し必要利益を生み出そう〜」に端的に示されています。

地域の一人ひとりに寄り添い、健康友の会とともにすすめる事業と運動で地域を守り、信頼される淀協の事業所として存在意義を輝かせていく。その結果として経営改善をすすめ、西淀病院建設をはじめとする80プランを実現させていきます。

1, 私たち淀協の公益目的

この法人は、医療並びに介護、障がい者福祉、公衆衛生の発展普及に関する事業、労働者の疾病、社会医学の研究を行い、地域住民の健康を守るとともに、生活困窮者に対し、社会福祉法第2条第3項第9条に規定する第2種社会福祉事業としての「生活困窮者のために、無料又は低額な料金で診療を行う事業」を核とした無差別・平等な福祉医療、介護事業を通じて、地域住民の公衆衛生および福祉に貢献することを目的とする（定款 第3条）

2, 2030年に向けた淀協3つの柱

- ① 深く地域に根ざし、「無差別・平等」を貫き、すべての人びとのいのちと健康を守り、ともに幸せを生み出す民医連の公益法人として輝こう
- ② 地域から信頼され、地域とともに歩む淀協職員として、人権感覚を磨き、専門性と総合性を持つ民医連の職員集団として成長しよう。働いてよかったと思える人にやさしい組織へいっそうの強化を。
- ③ 淀協の新しい未来を創る事業の成功にむけ、確かな経営・財務基盤をつくりあげ、前進しよう。

3, 内外環境

① 外部環境

- ・改憲勢力が3分の2に満たない衆議院、少数与党で国民要求実現の可能性広がる
- ・三年続くロシアのウクライナ侵略、イスラエル・ハマスの停戦合意実現
- ・トランプ再登場による対立と分断の加速。気候危機対応の遅れや軍事費負担などの影響
- ・広がる核兵器禁止条約の影響、被団協のノーベル平和賞受賞
- ・大軍拡の財源に社会保障費が標的に。子育て支援の財源は国庫ではなく社会保険
- ・報酬実質引き下げで医療機関、介護事業所が経営困難に、諸団体の運動で中間年改定実現
- ・健康保険証の発行が2024年12月2日発行停止 停止後のマイナ保険証利用率28%余
- ・あとまわしになる気候危機対策、原発再稼働・新設へ逆走、エネルギーも地産地消へ
- ・2025年4月からカジノ万博スタート 前売り券販売は目標数の約半分
- ・物価高騰で市民の生活逼迫 史上最高の消費税徴収で逆進性強まる 等など

② 内部環境

- ・民医連綱領と淀協理念に団結する職員集団、地域に根を張った健康友の会との共同
- ・全日本民医連、大阪民医連に主体的に結集し、民医連綱領を柱とした運営貫く
- ・社会的に認められた公益法人格を持つ強み、コロナ禍での実践で高まる地域からの信頼
- ・80プラン、茨木診建設、相川診建設に続き、法人の総力で西淀病院建設の具体化へ
- ・広域展開する法人として、部の創設、エリア管理体制の強化など組織整備すすむ
- ・社保平和、HPH、健康友の会活動を一体に推進する体制 まちづくり・健康増進部発足

- ・大阪初の茨木九条の記念碑建立、呼応する新たな広がり
- ・資金を生み出す介護事業所への転換は、介護の新規事業設立に向けた土台整備

4, 2025 年度スローガン

- ① 全職員の力を結集し、健康づくりを広げて5億円の償却前利益を確保しよう。
- ② 「ケアの倫理」を学び、語り合い、支えあう社会・地域づくりをすすめよう
- ③ オール地域で平和とくらし、環境を守り、人権としての社会保障をつくりあげよう

5, 重点課題

①人権守る民医連医療・介護・健康増進の実践を

○無差別平等の医療と介護

- ・定期の地域訪問（地域に出かけ・相談にのり・何とかする）を全エリアで実施します
- ・無料低額診療講座を継続し、全事業所・全職場で30%以上の無低推進士を養成します
- ・無料低額診療を広げて、お金がなくても医療にかかれる地域づくりをすすめます

○医療・介護の質の向上

- ・西淀病院建設に向け準備に入ります。
- ・よどの里の建物評価を行い、対応方針を検討します。
- ・ソーシャルワーク（相談機能）の充実に向け、事業所間の経験交流をすすめます。
- ・民医連介護の理念に基づいたたかうケアマネ、人権支えるヘルパー養成を具体化します。
- ・エリア内の一体的運営を強め、医療・介護・生活相談含めたワンストップ機能強化を

② 安心して住み続けられるまちづくり、その土台となる持続可能な地球へ

- ・「あらゆる活動を健康友の会とともに」。淀協の強みを最大限に活かします。
- ・日本一「PFAS」に強い淀協を築く！。PFAS 健診を展開しよう
- ・大阪の各自治体の受診率（特定健診・がん検診）10%アップに貢献する淀協へ
- ・喫煙防止教室、地域診断など地域・行政との共同でまちづくりをすすめよう
- ・すべての職員が、年に1度は健康増進の取り組みに意識をもって参加しよう
- ・健康友の会や行政、地域の個人・団体と協力し、地域を支える取り組みをすすめよう
- ・「多様性」宣言と行動計画を策定しよう
- ・ジェンダー委員会を設置し、多様性を認め合う淀協へ継続的に取り組もう
- ・環境にやさしい淀協ステイトメントを発信し、継続的に取り組みをすすめよう

③ 多様性を認め合い前進する淀協へ、人権守る職員の計画的な確保と育成をすすめよう

- ・淀協の後継者育成に向けて職種部会を確立し、職種別の育成プラン作成をすすめます。
- ・生きるを支える医療・介護・ヘルスケアの普及を通じて、淀協アイデンティティを高める

- ・介護職員確保に向け、確保運動、紹介運動に向けて新たな手立てを検討します。
- ・医師の確保と養成を、全法人的課題として恒常的に追求しよう
- ・Eラーニングシステムを法人全体に展開し、学びを身近なものとしします。

④ 80 プラン実現を支える経営・財務基盤の確立、組織整備を

- ・償却前利益5億円を達成し、80 プランを前へすすめよう
- ・相川診療所及び介護事業所の建設を成功させよう
- ・地域に根づいた淀協である一つの指標、淀協地域協同基金20億円を実現しよう
- ・80 プランを全職員で共有、再点検する機会を設定する。
- ・健康友の会の機関紙と同時配達する「地域向け淀協報」の発行を検討しよう
- ・2030年までの資金経営計画を確立する。
- ・健康友の会とともにすすめる運動・事業の指標設定、PDCAサイクルを確立しよう
- ・本部機能を強化し、ホームページの再構築、宣伝物、広報誌の発行などの前進を
- ・法人、事業所で、災害対応を目的とした事業継続計画の確立と作動確認を行う

以 上